

## 令和2年度 大学の世界展開力強化事業 審査結果表

大 学 名	東京農業大学	タイプ	A②
事 業 名	アフリカの栄養改善活動をフィールドとする協働実践型教育プログラム		
海外の相手大学	ソコイネ農業大学、ジョモケニヤッタ農工大学		

〔評価コメント〕

本事業計画は、アフリカ諸国の食事情を栄養学的な観点から改善することを目的としたものであり、平成27年度の中南米諸国を対象とした大学の世界展開力強化事業に採択された経験と実績を踏まえ、食と栄養に特化してアフリカ諸国との交流プログラムを立案するという、貴学の特色が活かされた意欲的な取組である。育成する人材像も明確にされており、貴学の日本人学生の海外志向とも重なってプログラムに対するニーズが十分に窺えるなど、アフリカ諸国に貢献し得る人材育成が期待できる。また、既存のカリキュラムとの連続性が高いプログラムを立案していること、博士学位取得支援までも考慮に入れた長期的な交流計画となっていることは評価できる。さらに、JICA等の国際交流機関との連携が緊密で、フィールドワークの実施やアウトプットの測定に関しても協力体制を構築していること、東アフリカ諸国の高等教育機関との幅広いネットワークを構築しようとしていることは高く評価できる。本プログラムを通じて、新たに多くの学生・卒業生が海外で活躍されることを期待する。

交流学生の派遣・受入に関する体制も整備されており、オンライン学修と実際の渡航、短期と長期の交流バランスもよく配置されている。渡航の際におけるアフリカ諸国での安全管理についても、海外危機管理委員会を設置するとともに民間の危機管理対応専門企業と契約するなど、不測の事態への対応に十分配慮がなされている。また、事業経費における自己資金比率が高いことは、事業計画の実現性だけでなく、補助事業終了後の継続性にも期待できる。

一方で、アフリカ諸国においては食料増産という大きな課題もあることから、栄養学的な観点とともに、今後は経済的な側面も含めた取組が望まれる。また、派遣学生の外国語力向上にも引き続き取り組むことが求められる。

最後に、今回選定された貴学においては、将来の我が国と相手国・地域との関係を見据え、質保証を伴う国際教育連携の先導的モデルに中心となって取り組む拠点大学であるということの意義とその責任、期待の重さを認識し、事業内容の実現に向け真摯に取り組まれることを強く要請する。